



イワキポンプ (東 1:6237)

バリュエーション判断
 前回強気⇒**強気**
 (2019.6.11)
 目標株価
 1700 円⇒**1400 円**

取材:2019年9月9日

担当:岸 和夫

(百万円、%、円:権利落ち修正後、Q/四半期、会/会社計画、予/エース経済研予想)											
【連結】	決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
	2020/3 1Q	6,782	-7	338	-45	454	-39	410	-17	18.4	0.00
	2020/3 2Q累会	15,411	5	1,313	9	1,564	2	1,240	16	55.6	13.00
	2018/3	28,067	12	2,106	44	2,733	28	2,059	22	91.7	27.53
	2019/3	29,171	4	2,337	11	2,847	4	2,163	5	96.3	28.90
	2020/3 会	30,561	5	2,384	2	2,869	1	2,243	4	101.1	30.50
	2020/3 予	29,800	2	2,100	-10	2,600	-9	2,050	-5	92.8	30.50
【セグメント情報】	20/3期1Q	【PER】		【財務指標】		20/3期1Q					
マグネットポンプ	38%	18/3	10.3	BPS	888円 株価(9/9終値)		944円				
定量ポンプ	18%	19/3	9.8	純資産	19,615百万円 売買単位		100株				
空気駆動ポンプ	6%	20/3予	10.2	総資産	30,223百万円 発行株数		22,490千株				
回転容積ポンプ	9%			時価総額	21,231百万円 PBR		1.06倍				
エアポンプ他	29%										

注:EPS、BPSは自己株式を除き計算。
18年7月1日付で1株→3株の株式分割を実施。

<注目ポイント>

1 国内有数のケミカルポンプ総合メーカー、欧米・アジア等に事業展開

同社及び欧州、アジア、中国、米国、豪州など世界 15 カ国 21 社のグループ会社で事業を展開。化学薬品等の薬液移送に使用されるケミカルポンプやポンプ専用コントローラ等の周辺機器の開発・製造・仕入・販売・メンテナンスを行っている。60 製品以上のシリーズがあり、型式も数万点に及ぶなど多品種少量生産が強み。大型製品は埼玉工場、小型製品は三春工場(福島)で生産。海外は 5 拠点で、ノックダウン生産により、短納期化・在庫効率化を推進。

2 「10 年ビジョン」25/3 期売上高 400 億円の達成に向け、20/3 期~22/3 期は育成期

10 年ビジョンとして、「オールイワキで世界 No.1 を提供する~グループ一丸となり、世界 No.1 の製品、品質、価値、サービスを提供する~」を打ち出している。10 年ビジョン達成に向けたステップとして、17/3 期~19/3 期は種蒔期、そして 20/3 期~22/3 期は育成期と位置付け、強化市場(水処理市場、医療機器市場、新エネルギー市場)への経営資源の優先投入、課題解決型ビジネスの展開(短納期対応製品の増加等)、新規事業のビジネスモデル構築(「小型魚類集合水槽システム ラブリード」に代表されるアクアテック事業のグローバル展開等)など、収益基盤の再構築・整備に取り組んでいる。

3 半導体・液晶や表面処理装置向けが予想以上に悪化、20/3 期通期計画を見直し

20/3 期 1Q は水処理市場、化学市場向けが好調も、半導体・液晶や表面処理装置向けが予想以上に悪化していることから、通期計画は修正となる可能性。

4 配当は、連結配当性向 30%超をベースに実施

強気の投資判断を継続、目標株価を 1400 円に変更

短期的には、業績修正で売られるような場面があれば、買い局面を迎えることになる。業績修正を予想し、目標株価を 1400 円に変更するが、中長期スタンスで臨みたい。

《アナリストによる宣言》

私、岸 和夫は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。
また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項**■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等**

商号等: エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 6 号
加入協会: 日本証券業協会
指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.242%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,700 円)(税込み)が必要となります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- 当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
- 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は何らの責任を負うものではありません。
- ※ (著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。